



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和2年度 事業報告



香川県
支部



人間を救うのは、人間だ。

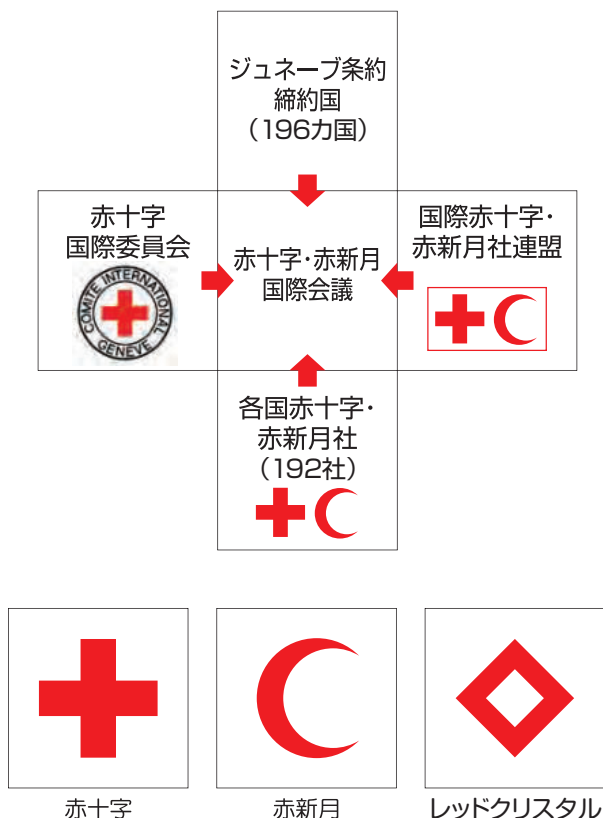
赤十字のはじまり

1859年6月、スイス人アンリー・デュナンは、イタリア統一戦争の激戦の地ソルフェリーノにほど近いカステリオーネで、戦野に放置されていた傷病兵の悲惨なありさまを目のあたりにしました。そこで、デュナンは、「傷ついた兵士は、もはや兵士ではない、人間である。人間同士として尊い生命を救わなければならない。」との思いを抱き、住民に協力を呼びかけ、敵味方の区別なく救護につとめました。この時の思い出をつづったデュナンの一冊の本「ソルフェリーノの思い出」がきっかけとなって、1863年2月、ジュネーブに赤十字国際委員会が、また1919年5月には平時活動を担当する国際赤十字・赤新月社連盟が創設されました。

赤十字の標章

赤十字の標章（マーク）は、1863年の国際会議において、赤十字の創始者デュナンの祖国スイスに敬意を表し、スイス国旗の配色を反転させ、「白地に赤十字」と決められています。現在ではイスラム教国の多くは、「白地に赤い三日月（赤新月）」のマークを使っていますが、これも赤十字と全く同じ組織であることを示すマークとして認められています。この標章は、保護の標章として戦時において、軍の衛生部隊に所属する人、建築物、施設、車両及び資材等に付し、これらを攻撃の対象としてはならないと決められています。

また、表示の標章として、赤十字社の建築物、車両、出版物等に付し、赤十字の目的を達成するために使用されています。これらの標章の使用は、国際法「ジュネーブ条約」さらに国内法（日本の場合は「赤十字の標章及び名称等の使用の制限に関する法律」昭和22年法律第159号）で厳しく制限されています。



国際赤十字・赤新月運動 の基本原則

(第20回赤十字国際会議(1965年、ウィーン)決議第8
改正:第25回赤十字国際会議(1986年、ジュネーブ)決議第31)

第20回赤十字国際会議は、赤十字の活動の基礎である次の基本原則を宣言する。

人 道

国際赤十字・赤新月運動(以下、赤十字・赤新月)は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力および堅固な平和を助長する。

公 平

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月はただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合もっとも急を要する困苦をまっさきに扱う。

中 立

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時にいずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独 立

赤十字・赤新月は独立である。各国の赤十字社、赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉 仕

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一

いかなる国にもただ一つの赤十字社あるいは赤新月社しかありえない。赤十字社、赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社、赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。



CONTENTS

①	全国赤十字大会	1
②	赤十字会員と活動資金の状況	1
③	災害救護	2
④	国際活動	9
⑤	救急法等の講習	10
⑥	赤十字奉仕団	13
⑦	青少年赤十字	17
⑧	医療事業	22
⑨	血液事業	24
⑩	赤十字思想の普及	25
⑪	香川県赤十字有功会	27
⑫	評議員会	27
⑬	決算概要	28



① 全国赤十字大会



大会は、令和2年5月20日（水）東京都渋谷区の明治神宮会館に名誉総裁皇后陛下並びに名誉副総裁各妃殿下ご臨席の下、全国から約1,900人の赤十字会員やボランティアが集い、全国赤十字大会が開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況がさらに悪化したことから、参加者等の安全確保のため、中止となりました。

香川県からは、36名の奉仕団員等の代表者が参会する予定でした。

② 赤十字会員と活動資金の状況



「会員」とは赤十字の活動や理念にご賛同いただき、赤十字の活動資金を納入される方のことです。

「日本赤十字社は、会員をもって組織する」のとおり、赤十字の活動は多くの会員によって支えられています。

令和2年度においても、「人間を救うのは、人間だ。」を赤十字運動標語として掲げ、5月の「赤十字会員増強運動月間」を中心に地区・分区及び赤十字奉仕団等との円滑な協力関係のもと、県内一円で会員増強運動を展開しました。

◎会員の状況

年 度	会 員 数		
	個人（人）	法人（社）	合計会員数
平成28年度	83,453	2,623	86,076
平成29年度	83,446	2,661	86,107
平成30年度	59,930	2,899	62,829
令和元年度	57,149	3,519	60,668
令和2年度	53,396	3,829	57,225

※平成30年度から規則変更により集計方法を変更しています。

◎活動資金の実績状況

年 度	実績額（円）			目標額（円）
	個人	法人	合計額	
平成28年度	126,529,549	30,188,592	156,718,141	146,000,000
平成29年度	138,899,983	17,380,450	156,280,433	146,000,000
平成30年度	163,801,465	22,141,835	185,943,300	146,000,000
令和元年度	131,040,637	34,639,871	165,680,508	146,000,000
令和2年度	126,646,963	41,930,067	168,577,030	146,000,000



「赤十字活動支援自動販売機」の設置



活動資金の贈定式

③ 災害救護



災害にあった人々の救護は、日本赤十字社本来の使命に基づいた最も重要な事業の一つです。

昭和22年制定の災害救助法により、日本赤十字社は災害に際して救助の協力を義務づけられ、さらに昭和36年制定の災害対策基本法では日本赤十字社を指定公共機関として指定し、災害救護に対する準備体制を確保しておくよう定められています。

当支部では、これらの法律に基づく規則や計画に従い、常備救護班を編成し、有事即応の体制を整えるほか、救護員訓練などにより、医療救護活動の実施に万全を期するとともに、赤十字奉仕団、防災ボランティアの協力のもと、幅広い救護活動の展開が可能となるように努めました。

▶ 救護班

常備救護班として8個班を、県内赤十字施設（高松赤十字病院・香川県赤十字血液センター）との連携のもとに編成しており、災害の規模に応じて必要な救護班を派遣できるようにしています。この救護班の編成基準と要員確保状況は、次のとおりです。

◎救護班の編成（1班7人編成 8個班）

（単位／人）

区分	職種	医師(班長)	看護師長	看護師	薬剤師	主事	合計
1個班の編成基準		1	1	2	1	2	7
常備要員数		8	8	16	8	16	56

※必要に応じて、助産師・特殊要員を加えます。また、血液供給要員3人、災害対策本部支援員2人を任命しています。

◎dERUチームの編成（1チーム14人編成 4チーム）

（単位／人）

区分	職種	医師	看護師長	看護師	薬剤師	助産師	主事	合計
1チームの編成基準		2	2	4	1	1	4	14
常備要員数		8	8	16	4	4	16	56

※医師のうち1名がチームリーダー、主事のうち1名がサブリーダーとなります。



◎災害救護活動

①「令和2年7月豪雨」災害に対する対応

7月3日から7月31日にかけて、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で集中豪雨が発生し、気象庁は「令和2年7月豪雨」と名称を定めました。

この豪雨で河川の氾濫による洪水、陸地内での増水による浸水、地すべりや崖崩れなど、各地に甚大な被害がもたらされました。この災害の被害状況は、死者・行方不明者86人、建物被害16,599棟と大きな爪痕を残しました。

日本赤十字社においては、発災直後から本社・各支部が総力をあげて被災者の救護に全力を尽くしました。



●救護班第1班

- 救護班員／10人（医師2人、看護師長1人、看護師2人、薬剤師1人、主事4人）
- 派遣日時／7月16日（木）～7月21日（火）
- 活動場所／【芦 北】 芦北町交流センター、地域活性化センター他
【津奈木】 平国コミュニティセンター、つなぎ文化センター他
- 活動内容／避難所診療、巡回診療、新型コロナウイルス感染防止対策
DVT予防啓発活動、環境アセスメント活動他
- 患 者 数／4人



②台風第9号・第10号の接近に伴う対応

- 活動日時／令和2年9月2日（水）
- 活動内容／情報収集・市町及び
関係機関への情報提供



▶ 災害義援金の取扱状況

国内の災害に対する義援金が当支部に次のとおり寄せられました。

東日本大震災義援金	(29件)	398,078円
平成28年熊本地震災害義援金	(18件)	719,497円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	(2件)	51,000円
平成30年7月豪雨災害義援金	(6件)	27,423円
令和元年8月豪雨災害義援金	(3件)	149,039円
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	(3件)	85,562円
令和元年台風第19号災害義援金	(13件)	316,300円
令和2年7月豪雨災害義援金	(203件)	8,432,250円
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	(3件)	6,221円

（ 合 計 ） (280件) 10,185,370円

※東日本大震災義援金当初からの累計 (14,456件) 1,645,681,811円

※熊本地震災害義援金当初からの累計 (977件) 110,776,119円



▶ 災害等による被災者の援護

公益財団法人JKA、全日本遊技事業協同組合連合会の補助金により整備した毛布、緊急セット及び安眠セットを支部倉庫に備蓄するとともに、地域の実情を踏まえて各地区・分区にも分置しています。その他バスタオル、ブルーシートなど、救援物資の効果的な備蓄に努めました。また、応急援護として火災等の被災者の方々に対して、見舞金や弔慰金を贈っています。

◎災害救援物資の備蓄状況（令和3年3月31日現在）

品名	地区別	令和元年度 繰越数	本年度増減数				令和2年度 未備蓄数	備蓄場所	
			本社から受入	他県へ管理換	県内へ配布	転用		支部	地区等
毛 布(枚)		4,288	0	0	39	0	4,249	3,600	649
緊急セット(個)		1,046	0	0	24	0	1,022	900	122
安眠セット(個)		1,332	0	0	0	0	1,332	1,254	78
バスタオル(枚)		822	0	0	0	0	822	650	172
ブルーシート(枚)		593	0	0	0	0	593	540	53
タオルケット(枚)		1,300	690	0	0	0	1,990	1,990	0



緊急セット《1世帯(4人分)》

- タオル
- 歯ブラシ
- 懐中電灯
- 軍手
- 携帯ラジオ
- その他20点



安眠セット

- マット
- 枕
- アイマスク
- 耳栓
- スリッパ
- 靴下



◎火災等による被災者や避難所への避難者に対し、次のとおり救援物資を贈りました。

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
毛 布(枚)		16	4	0	0	0	0	0	13	0	0	6	39
緊急セット(個)		12	3	0	0	0	0	0	5	0	0	4	24
安眠セット(個)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◎火災等による被災世帯や死亡者に対し、次のとおり見舞金等を贈りました。

(単位/千円)

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
災害	見舞金	180	80	20	0	0	0	20	100	0	20	180	600
	弔慰金	60	60	20	0	0	0	0	0	0	0	0	140
中国帰国者見舞金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		240	140	40	0	0	0	20	100	0	20	180	740



▶ 救護員の養成

行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
救護員任命式	4月 8日(水)	赤十字救護員	60	高松赤十字病院	
救護員研修会	4月 8日(水)	赤十字救護員、指導者	50	高松赤十字病院	国内型緊急対応ユニット（dERU）について
支部・施設合同救護員主事対象研修会	5月13日(水)	赤十字救護員、指導者（主事・ロジスティックス）	14	香川県社会福祉総合センター	ステップ1研修（救護業務概論） 災害時の主事の役割と業務、法規
こころのケア研修	7月13日(月)	赤十字救護員、指導者	40	高松赤十字病院	講義（日本赤十字社のこころのケア、災害時のストレスとストレス反応、被災者のケア、救護員のケア）、グループワーク、ロールプレイ
支部・施設合同赤十字救護員基礎研修会	第1回 9月17日(木)	赤十字救護員候補者・研修医、指導者	60	高松赤十字病院	（座学）赤十字の災害救護内容・法的根拠、災害医療概論、救護業務で活用するシステムや診療録、救護所設営机上演習、基礎行動
	第2回 10月 6日(火)	赤十字救護員候補者・研修医、指導者	62	香川県青年センター	救護資機材取扱（担架・簡易ベッド・発電機・医療資機材） 救護所設営（エアテント・パイプテント） トリアージ 救護シミュレーション（救護所診療、避難所巡回診療、避難所アセスメント）



◎国内型緊急対応ユニットdERU（大規模災害等が発生した時に迅速に被災地域に搬入できる自己完結型の緊急仮設診療所）操作研修の実施

行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
dERU操作訓練	6月16日(火)	支部職員、防災ボランティアリーダー	6	香川県青年センター	dERUの展開実習、救護資機材操作
救護員実践研修会	12月10日(木)	赤十字救護員、指導者	※	高松赤十字病院	dERUの運用、学科研修・実技研修の留意事項、グループワーク、dERUの展開実習等、救護資機材操作、現場救護所シミュレーション

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



▶ 日本赤十字社第5ブロック東南海・南海地震災害救護運用マニュアルの改訂

日本赤十字社東南海・南海地震対応計画の具体的な第5ブロック運用マニュアルとして平成26年8月に初版が策定されていましたが、6年が経過し初動体制の確立を軸に、オンライン会議形式にて検討を重ね改訂しました。

▶ 日本赤十字社中国・四国各県支部合同研修会への参加

行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
令和2年7月豪雨災害救護活動に係る日本赤十字社第5ブロック各県支部合同検証会	11月15日(日)	支部災害医療コーディネーター及び救護業務担当者	3	日赤岡山県支部(WEB会議)	災害救護活動報告 災害時における日赤災害医療CoTの役割について
第5ブロック救護担当者合同勉強会	2月16日(火)	救護業務担当者	4	日赤広島県支部(WEB会議)	救護担当者として、救護業務に対する共通理解 災害対策本部を運営する上で必要となる知識・技術の共通理解



▶ 他機関の防災訓練等への参加



行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
香川県総合防災訓練	8月30日(日)	赤十字防災ボランティア	35	香川県消防学校	dERU2基の展開、救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送、無線交信、医薬品搬送、新型コロナウイルス疑い患者の対応
		高松赤十字病院看護師(傷病者役)	20		
		赤十字救護員	14		
高松市震災対応訓練	9月27日(日)	高松市赤十字奉仕団 赤十字救護員	※	高松市内	非常食の炊き出し・配分
香川県石油コンビナート総合防災訓練	11月11日(水)	赤十字救護員	8	コスモ石油株式会社 坂出物流基地	救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送
高松海上保安部との相互協力に関する協定に基づく合同救助訓練	1月29日(金)	赤十字救護員	10	高松港湾合同庁舎北側 海域	dERUの展開、救護所開設、船内トリアージ、巡視船による負傷者搬送、応急医療、無線交信

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



▶ 赤十字防災ボランティアの養成

災害救護活動のノウハウを習得し、災害時等に日本赤十字社が行う活動（情報収集、炊き出し、救援物資の輸送・配布など）や個人や民間レベルでの助け合い活動を行う赤十字防災ボランティアを養成しました。

◎香川県赤十字防災ボランティア活動状況

①登録人員（団体） 204人（個人登録）、4団体（団体登録）

②防災ボランティア基礎研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- 日 時／令和2年6月14日（日）10：00～15：00
- 場 所／日本赤十字社香川県支部 ボランティア室
- 参 加 者／赤十字防災ボランティア等 20人
- 研修内容／赤十字の理念、赤十字防災ボランティア活動のガイドライン、平成30年7月豪雨災害活動報告、災害救護装備・支部倉庫見学、非常食の炊き出し、災害時に役立つ応急手当

③防災ボランティア・リーダー養成研修会

- 日 時／令和3年1月16日（土）10：00～17：20
- 場 所／東京都・日赤本社（WEB研修）
- 参 加 者／赤十字防災ボランティア・リーダー候補者 2人
- 研修内容／防災ボランティア・リーダーとしての業務・コーディネート、令和2年7月豪雨災害における活動事例、日本赤十字社の防災ボランティアの活動、防災ボランティア活動における他団体との協働、災害時のボランティア活動に必要な知識・準備等について

④防災ボランティア・リーダー研修会

- 日 時／令和3年1月17日（日）10:00～15:00
- 場 所／香川県青年センター
- 参 加 者／赤十字防災ボランティア・リーダー、指導者 11人
- 研修内容／コロナ禍でも役立つ実践的な防災知識の向上と指導スキルの習得、ロープワークの基本的な結び方と指導方法を共有



▶ 臨時救護

「ドライブインシアターURAKATA Festival 2020」に救護員1人を派遣し、負傷者の救護等にあたりました。



▶「赤十字地域防災セミナー」の実施

大規模災害から人々のいのちを守り、その被害を最小限に抑えるためには、日頃から防災・減災に取り組むとともに、災害発生時には、地域の人たち自らが迅速かつ的確に対応し、速やかに復旧・復興につなげることができる強靱な地域コミュニティが重要です。

このため、地域コミュニティにおける防災教育の一層の普及推進を図る場として、赤十字地域防災セミナーを開催しました。

体験内容

- | | |
|-------------------|--------------|
| ○災害ボランティアセンター運営訓練 | ○ドローイングチャレンジ |
| ○クロスロードゲーム | ○災害エスノグラフィー |
| ○災害に役立つ応急手当 | ○避難所運営ゲーム |
| ○その他（气象台等の基調講演） | |



月 日	地区・分区	対象者	人数
12月13日(日)	三木町	分区職員、奉仕団員、ボランティアセンター会員	40
1月15日(金)	東かがわ市	奉仕団員	※
1月30日(土)	丸亀市	婦人会、婦人防火クラブコミュニティ部会員	※
2月21日(日)	観音寺市	奉仕団員、自治会長、市社協職員	22
2月24日(水)	さぬき市	奉仕団員	35
3月18日(木)	綾川町	綾川町・宇多津町婦人会	50
3月26日(金)	坂出市	奉仕団員、市職員	33
合計5回			合計180人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



▶「防災とボランティアのつどい」～親子で学ぼう防災、広げよう減災～

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から10年。記憶を風化させぬよう、県民の防災・減災意識の向上を目的に親子で学べる内容に特化して本年度も開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を例年より縮小しての実施となりました。

- 日 時／令和3年3月6日(土) 10:00～15:00
- 場 所／さぬきこどもの国(高松市香南町)
- 参 加 者／一般来場者 249人
- 内 容／東日本大震災パネル展示、学べるDVD上映
来場者の被災地応援メッセージによるパネルボードの作成



▶「3.11香川から東北へ祈りを」～私たちは忘れない～

東日本大震災から10年目の節目を迎える年に災害の記憶を風化させぬよう、県民の防災意識の向上を目的に開催しました。

被災地・被災者に向けたメッセージを通行人に書いてもらい、展示することで香川から東北へ追悼の祈りを発信するとともに、当時の救護活動等の写真や防災グッズ等を展示し、災害への備えを考える機会としました。

イベント開始から2時間後、約300枚の折り紙で、「絆 3.11」の文字が浮かび上がりました。このイベントで集められたメッセージは、日赤宮城県支部を通じて被災地にお届けしました。

- 日 時／令和3年3月11日(木) 13:00～16:00(14:46黙とう)
- 場 所／高松丸亀町壺番街前ドーム広場
- 参 加 者／一般来場者 251人
- 内 容／通行人来場者の被災地応援メッセージによるパネルボードの作成
当時の救護活動等の写真や防災グッズ等を展示



4 国際活動



日本赤十字社は、世界192の国と地域の赤十字・赤新月社と連携して、世界各地において民族や宗教の対立等により発生する人道的な危機や、地震・洪水等の自然災害による難民、国内避難民等に対する「国際救援」を行います。

また、災害や保健衛生上の脅威にさらされる開発途上国の赤十字社が実施するプログラムへの支援を行う「開発協力」を中心に、要員の派遣や資金、物資の援助を進めています。

これら本社が行う国際活動に呼応して、次のとおり活動を行いました。

▶ 国際救援

◎国際救援金の取扱状況

「NHK海外たすけあい」募金	(334件)	3,354,709円
海外救援金（地域指定なし）	(2件)	104,873円
中東人道危機救援金	(0件)	0円
バングラデシュ南部避難民救援金	(0件)	0円
（合計）		(336件) 3,459,582円



▶ 開発協力

◎「NHK海外たすけあい」キャンペーンの実施

海外で発生した災害や紛争による被災者等を支援するとともに開発途上国の開発協力を行うために、日本赤十字社とNHKが共催し、1983年に第1回のキャンペーンを実施して以来、毎年12月にNHKの放送を通じて広く募金を呼びかけています。

12月1日（火）にはNHK高松放送局にてオープニングセレモニーを行いました。

●オープニングセレモニー

高松市立川岡幼稚園【青少年赤十字加盟校】



◎アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット整備事業

国際赤十字・赤新月社連盟は、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開できるよう、「給水・衛生災害対応キット」を開発し、頻繁に災害に見舞われる国や地域に予めこれらの資機材を備蓄し、現地赤十字社のスタッフやボランティアの研修を行っております。

香川県支部は中国・四国各県の支部と共同で資金提供し、この事業に参加しています。

アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット整備事業資金の拠出	671,250円
（中国・四国各県支部共同事業 拠出総額）	7,000,000円



災害時に給水キットを組み立てるボランティア
©バングラデシュ赤新月社



カンボジアの村での衛生教育セッションする職員
©日本赤十字社



インフラの整備されていないシリア難民に安全な水を確保
©Stephen Ryan IFRC

5 救急法等の講習



赤十字は、人間の苦痛を予防軽減し、生命と健康を守り、人間の尊厳を確保するという赤十字の理念に基づいて、広く一般の方々を対象とした救急法等の講習会を実施しています。

当支部では令和2年度に、次のとおり各地域で講習会を実施しました。

▶ 救急法

思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人を正しく手当てし、医師や救急隊員に引き継ぐまでの応急手当として、「心肺蘇生・AED」「止血」「骨折の手当」「傷病者の搬送」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

◎救急員養成講習

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

◎基礎講習

対象・主催等	受講者数	修了者数
穴吹医療大学校	79	79
穴吹ビジネスカレッジ	31	31
穴吹リハビリテーションカレッジ	36	36
香川県サッカー協会	38	38
香川県立高松南高等学校（2回）	128	128
香川短期大学	24	24
四国医療専門学校（4回）	92	91
四国学院大学専門学校	13	13
尽誠学園高等学校高校	28	28
True Japan Tour 株式会社	29	29
支部教室（4回）	110	110
計 18 回	608	607

◎短期講習

対象・主催等	受講者数
綾川町赤十字奉仕団鴻宮分団	50
綾川町立陶小学校	25
宇多津町立宇多津中学校（2回）	164
英明高等学校（4回）	582
大手前丸亀高等学校（2回）	107
オートモビルジャパン株式会社（2回）	21
岡田地区自主防災	31
officeヒロ	7
公益財団法人 かがわ健康福祉機構	15
香川県教育委員会事務局保健体育課	32
香川県教育委員会事務局高校教育課	12
香川県警察学校（4回）	244
香川県警察 高松北警察署（3回）	100
香川県藤井高等学校	10
香川県立香川中部養護学校	70
香川県立香川丸亀養護学校	30
香川県立笠田高等学校	120
香川県立観音寺総合高等学校（2回）	245
香川県立琴平高等学校（2回）	230
香川県立斯道学園	23
香川県立志度高等学校（2回）	120
香川県立高瀬高等学校	153
香川県立高松桜井高等学校（3回）	300
香川県立高松西高等学校	898
香川県立高松東高等学校	50
香川県立高松南高等学校	30
香川県立高松養護学校	30
香川県立津田高等学校（2回）	90
香川県立三木高等学校	50
香川県立豊学校（3回）	77
かがわ総合リハビリテーション福祉センター	14
香川大学創造工学部（2回）	40
香川鋳造株式会社	10
香川ひだまりデイサービス	17

対象・主催等	受講者数
学童クラブ ゆうか（2回）	92
株式会社アイム（2回）	30
株式会社ハッピーライフ デイサービスセンター 豊川	10
株式会社富士クリーン	31
株式会社村上製作所 長尾工場	14
上所自治会（3回）	138
川崎重工業株式会社船舶海洋カンパニー	54
観音寺市立中部中学校（2回）	181
観音寺市立観音寺中学校（2回）	92
観音寺市立豊浜中学校（2回）	62
公益財団法人高松市スポーツ協会（2回）	51
高齢者複合施設 すずかけの径	20
ことでんバス株式会社	29
坂出市立加茂小学校	40
坂出市立坂出小学校	38
坂出市立林田小学校	30
桜町マンション防災会（4回）	65
さぬき市立さぬき南中学校（2回）	138
さぬき市立志度中学校（4回）	137
さぬき市立長尾小学校	82
四国医療専門学校	16
四変テック株式会社（2回）	40
社会福祉法人 大樹福祉会 サン	13
世界救急の日記念イベント	122
高松市赤十字奉仕団川添分団	24
高松市立浅野小学校	25
高松市立植田小学校	13
高松市立太田中学校（2回）	227
高松市立太田南小学校	45
高松市立大野小学校	30
高松市立香川第一中学校（2回）	178
高松市立勝賀中学校	50
高松市立木太北部小学校	30
高松市立国分寺中学校（3回）	216

対象・主催等	受講者数
高松市立紫雲中学校	45
高松市立塩江中学校	14
高松市立下笠居中学校	31
高松市立十河小学校	30
高松市立東植田小学校	12
高松市立古高松中学校	30
高松市立牟礼南小学校（2回）	145
高松市立屋島中学校（3回）	191
高松市立栗林小学校	70
高松市立高松第一小学校・中学校（2回）	97
高松赤十字病院（2回）	29
特別養護老人ホームさんさん荘	20
直島町子ども会育成連絡協議会	40
日本赤十字社香川県支部（2回）	99
日本赤十字社香川県支部綾川町分区分	50
日本赤十字社香川県支部観音寺市地区	22
日本赤十字社香川県支部坂出市地区	33
日本赤十字社香川県支部さぬき市地区（2回）	60
日本赤十字社香川県支部三木分区分	40
日本赤十字社香川県支部三豊市地区	19
東かがわ市立白鳥中学校	58
東かがわ市立大川中学校（2回）	90
丸亀市立郡家小学校	50
まんのう町赤十字奉仕団神野分団	40
まんのう町赤十字奉仕団仲南分団	40
まんのう町赤十字奉仕団長炭分団	30
まんのう町赤十字奉仕団吉野分団	25
まんのう町母子愛育連絡協議会	37
三木町立田中小学校	9
三豊市上下水道工業協同組合（2回）	16
三豊市立三野津中学校	72
防災とボランティアのつどい	249
3.11香川から東北へ祈りを	251
計 150 回	8,404



▶ 水上安全法

水の事故から人命を守るため、「泳ぎの基本」「水の事故防止」「溺者の救助」「一次救命処置と応急手当」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

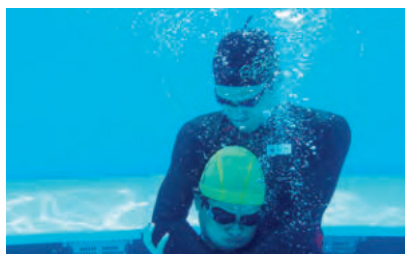
◎救助員養成講習

対象・主催等	受講者数	修了者数
香川県消防学校 消防学生	39	39
支部主催教室 11月コース（プール）	※	※
支部主催教室 津田の松原（海）	3	3
計 2 回	42	42

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

◎短期講習

対象・主催等	受講者数
香川県水泳協会	20
公益財団法人高松市スポーツ協会（4回）	48
父母ヶ浜海水浴場	7
計 6 回	75



▶ 健康生活支援講習

健康増進・介護予防などへの社会の関心が高まる中、社会のニーズに柔軟に対応しつつ、自立に向けた高齢者介護の知識・技術などを広く普及しています。この講習では、高齢者の介護の方法のほか、高齢期を迎える前からの健康管理、地域での高齢者支援などを内容としています。

また、災害時高齢者生活支援講習においては、被災した高齢者の避難所生活に焦点をあてて、不自由な生活から高齢者を守るために、誰もが知っておいていただきたい知識や支援技術についてご紹介しています。

◎支援員養成講習

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

◎短期講習

対象・主催等	受講者数
香川県立農業経営高等学校（3回）	36
香川県立三木高等学校（2回）	26
高松市赤十字奉仕団男木分団	15
高松市赤十字奉仕団古高松分団	13

対象・主催等	受講者数
日本赤十字社香川県支部	27
赤十字奉仕団“ほっと”（2回）	19
栗林校区婦人会	14
計 11 回	150



▶ 幼児安全法

こどもを社会の財産として大切に育てるために、「こどもに起こりやすい事故の予防と手当」「家庭内での看病の方法」を中心として次のとおり講習会を実施しました。

◎支援員養成講習

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



◎短期講習

主催等	受講者数	主催等	受講者数
香川県教育センター	46	西春日保育所ピノキオ子育て支援センター	6
香川県子ども家庭課（3回）	89	二番丁幼稚園	9
株式会社マミーズファミリー（4回）	43	東かがわ市保健課健康づくりグループ	20
観音寺ファミリー・サポート・センター（2回）	24	ファミリー・サポート・センターうたづ	7
くじらの杜保育園（2回）	8	丸亀市城辰保育所地域子育て支援センター	9
虎岳保育園（2回）	24	丸亀市ファミリー・サポート・センター（2回）	24
子育てネットひまわり（2回）	16	丸亀市飯山地域子育て支援センター	15
こぶし中央保育園	21	まんのう町母子愛育連絡協議会	37
さぬき市ファミリー・サポート・センター（2回）	22	みとよファミリー・サポート・センター（2回）	52
さぬきっずコムシアター（2回）	13	わははネット（2回）	71
高松市赤十字奉仕団男木分団（3回）	36	わはは・ひろば香西	4
たかまつファミリー・サポート・センター（4回）	54	わはは・ひろば高松	3
西春日保育所（2回）	29	計 45 回	682



▶ 救急法・水上安全法指導員養成講習会の実施

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

赤十字の理念と使命を理解し、十分な知識と技術をもった実践的な指導員を養成し、本県における標記講習の普及と指導体制の強化を図ることを目的に、指導員養成講習会を実施予定としていました。

【救急法指導員養成講習会】

- 日 時／令和2年11月28日（土）～29日（日） …… 事前研修会
- 令和3年 1月 9日（土）～11日（月・祝） …… 養成講習会
- 1月23日（土）～24日（日） …… 養成講習会
- 令和3年 2月27日（土）～28日（日） …… 事後研修会

- 場 所／日本赤十字社香川県支部 ボランティア室 等

【水上安全法指導員養成講習会】

- 日 時／令和2年 5月10日（日） …… 事前研修会
- 令和2年 7月10日（金）～12日（日） …… 養成講習会（プール）
- 9月 5日（土）～ 6日（日） …… 養成講習会（海）
- 令和2年10月31日（土）～11月1日（日） …… 事後研修会

- 場 所／香川県消防学校プール 等

- 参 加 者／8名（事前研修会のみ開催）



⑥ 赤十字奉仕団



赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道的な諸活動を、様々な領域で実践しようとする方々により結成されたボランティア組織です。

この赤十字奉仕団は、市町の地域ごとに組織されている「地域奉仕団」、青年や学生で組織されている「青年奉仕団」、救急法等のボランティア指導員、アマチュア無線等特殊な技術をもった方々で組織されている「特殊奉仕団」によって構成されています。

これらの赤十字奉仕団は、災害時の救護活動、献血の推進活動、救急法等の講習普及活動、社会福祉活動など地域に根差した活動を県内各地で展開しています。

▶ 地域奉仕団

地域奉仕団は、赤十字の基盤となるボランティア組織として、赤十字事業の推進に欠くことのできない存在であり、各地域においてそれぞれの立場で奉仕活動を展開しています。

◎組織及び団員数 17団（8市9町） 11,239人

区分	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
分団数	41	10	11	8	15	10	7	9	10	3	46	170
団員数	1,106	1,986	1,046	358	369	290	420	912	919	85	3,748	11,239

◎主な活動内容

- ①会員増強に関する活動
- ②災害救護に関する活動
- ③救急法、健康生活支援講習等の講習普及に関する活動
- ④赤十字病院における活動
- ⑤献血推進に関する活動
- ⑥青少年赤十字の加盟促進、育成に関する活動
- ⑦社会福祉に関する活動



◎研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月 日	場 所	参加者（対象）	参加人数
本社	赤十字奉仕団中央委員会	12月3日(木)	東京都・日赤本社（WEB会議）	支部委員会委員長	1
ブロック	中国・四国ブロック赤十字奉仕団協議会	9月24日(木)～25日(金)	鳥取県・日赤鳥取（書面表決）	支部委員会委員長	—
支部	赤十字奉仕団県支部委員会	5月15日(金)	日赤香川県支部	支部委員（担当者1名含む）、支部職員	18
	赤十字奉仕団委員長会議	6月10日(水)	香川県社会福祉総合センター	各市町委員長・副委員長等地区区分担当者	90
	世界救急法の日記念イベント	9月12日(土)	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区奉仕団員等	122
	赤十字奉仕団県支部委員会	9月30日(水)	日赤香川県支部	支部委員、支部職員	17
	赤十字奉仕団ボランティア・リーダー研修会	11月25日(水)～26日(木)	坂出市・休暇村讃岐五色台	各地区・分区奉仕団員	※
	NHK海外たすけあいキャンペーン	12月12日(土)	高松市内	高松市赤十字奉仕団	※
	赤十字奉仕団基礎研修会	2月17日(水)	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区奉仕団員	60

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◎研修会等の開催

●委員長会議の開催

- 日 時／令和2年6月10日（水）10：00～11：30（1回目）
（高松市、さぬき市、東かがわ市、小豆郡、木田郡、香川県）
令和2年6月10日（水）13：30～15：00（2回目）
（丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、三豊市、綾歌郡、仲多度郡）
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階第一中会議室
- 参 加 者／各市町奉仕団委員長、副委員長、地区・分区担当者 90人
- 内 容／赤十字奉仕団活動報告、モデル奉仕団活動報告等



①

◎研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月 日	場 所	参加人数
本 社	青年赤十字奉仕団全国協議会・赤十字ユース委員会	5月16日(土)～17日(日)	東京都・日赤本社 (WEB会議)	1
	赤十字ユース委員会	2月28日(日)	東京都・日赤本社 (WEB会議)	1
ブロック	中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月13日(土)～14日(日)	山口県・日赤山口 (書面表決)	—
	中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団研修会	8月28日(金)～30日(日)	徳島県・日赤徳島 (書面開催)	—
支 部 ・ 協議会	防災ボランティア基礎研修会	6月14日(日)	日赤香川県支部	※
	青年赤十字奉仕団香川県支部連絡協議会総会	6月20日(土)	香川県社会総合福祉センター	29
	1日血液センター所長イベント	7月上旬	献血ルーム他	※
	リラクゼーション研修会	7月5日(日)	日赤香川県支部	※
	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	8月1日(土)～3日(月)	五色台少年自然センター	※
	香川県総合防災訓練	8月30日(日)	香川県消防学校	4
	世界救急法の日記念イベント	9月12日(土)	香川県社会総合福祉センター	14
	防災キャンプ in 南川	9月26日(土)～27日(日)	さぬき市南川自然の家	※
	リラクゼーション研修会	10月3日(土)	日赤香川県支部	※
	NHK海外たすけあいキャンペーン	12月12日(土)	高松市内	※
	全国学生クリスマス献血キャンペーン	12月12日(土)・19日(土)・20日(日)	献血ルーム他	50
	防災ボランティア実践研修会	1月17日(日)	香川県青年センター	※
	防災とボランティアのつどい	3月6日(土)	さぬきこどもの国	11
	「3.11香川から東北へ祈りを」～私たちは忘れない～	3月11日(木)	高松丸亀町壱番街ドーム広場	2

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

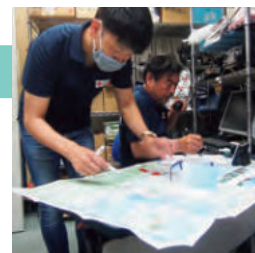


▶ 特殊奉仕団

◎香川県アマチュア無線赤十字奉仕団

アマチュア無線の特殊技能を持った人たちによって組織されているアマチュア無線奉仕団は、災害等の非常事態発生の際に連絡網を断たれた被災地の情報収集、伝達など通信の確保に協力するための訓練を実施しており、その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数／1団 29人
- ②主 な 活 動 内 容／●県内無線電波の伝播テスト及び電波形式でのテキスト送受訓練
●非常通信協議会の非常通信訓練への参加 ●香川県総合防災訓練参加



◎香川県赤十字安全奉仕団

救急法等ボランティア指導員によって組織され、人道を基本理念とする赤十字精神に基づき、事故防止並びに安全思想の普及を図るため、各種講習会において主体的な指導にあたっています。その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数／1団 146人
- ②主 な 活 動 内 容／●救急法等講習普及活動 ●支部実施行事(各種イベント等)への協力 ●団員研修・交流

●赤十字安全奉仕団一泊研修会(防災キャンプ2020) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- 日 時／令和2年9月26日(土)～27日(日)
- 場 所／さぬき市南川自然の家
- 内 容／・赤十字奉仕団員同士の交流と親睦
 - ・発電機取扱
 - ・ロープワークの習得
 - ・作って食べよう
(サバイバル飯・竹から作る流しそうめん)
 - ・自然を探そう



●赤十字安全奉仕団研修会

- 日 時／令和2年12月5日（土）
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 3階健康ブレイルーム
- 内 容／新型コロナ禍における救急法基礎講習会実施にかかる暫定措置伝達
- 参加者／37人



◎香川県赤十字奉仕団“ほっと”

健康生活支援講習のリラクゼーション技術を勉強した人によって組織され、定期的に高齢者福祉施設入所者等にリラクゼーションのケアサービスを提供しています。

わずかな時間でも傍に付き添い、静かに話に耳を傾けスキンシップをすることで、相互の心身のやすらぎやストレスの緩和につながります。温かい両手と笑顔と共感の心で実践活動を行っています。

①組織及び団員数／1団 41人

②主な活動内容

- 施設へのケアサービス提供
- 団員研修会の開催（2回、参加者19人）
- 団員の増強とケアサービスの普及、充実
- 支部実施行事（各種イベント等）への協力



◎香川県青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字加盟校を退職された指導者によって組織されている青少年赤十字賛助奉仕団は、加盟校在籍中の経験を生かした青少年赤十字の普及、加盟促進への協力活動等を行っています。

①組織及び団員数／1団 87人

②主な活動内容

- 青少年赤十字の普及、加盟促進への協力
- 青少年赤十字加盟校への協力
- 香川県教育委員会への働きかけ
- 校長会・園長会等への働きかけ
- 地域赤十字奉仕団との連携



◎香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団

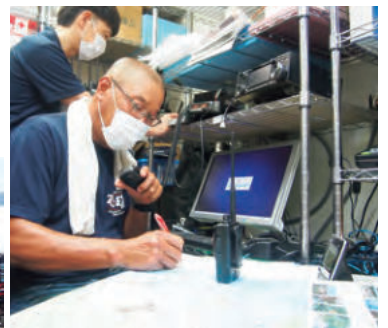
災害時に赤十字ボランティア活動を実施するためバイク愛好家により結成し活動しています。

大地震等の災害に備え、小回りの利くバイクの機動力を生かし、救援活動や情報収集をするため、訓練等を実施して緊急時に備えています。

①組織及び団員数／1団 15人

②主な活動内容

- 支部実施行事（各種イベント等）への協力
- 団員研修・交流



7 青少年赤十字



青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校（幼稚園・保育所）内に組織されています。

日本全国で保育所から高等学校まで約14,000校、340万人余りのメンバーが加盟し、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」という3つの実践目標と、「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ活動しています。

県内の加盟状況等は、次のとおりです。

◎加盟状況

区 分	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	42	150	151	70	41	9	463
メンバー数	3,894	12,606	38,721	21,203	16,922	841	94,187



◎加盟校（所・園）一覧表（※は、新規加盟校）

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
高松市立瀬戸内保育所	23	高松市立鬼無保育所	147	坂出市立川津愛児園	73
高松市立扇町保育所	131	高松市立三谷保育所	105	坂出市立松山保育園	73
高松市立宮脇保育所	51	高松市立多肥保育所	135	坂出市立江尻保育所	59
高松市立松島保育所	122	高松市立川島保育所	145	坂出市立西部保育所	27
高松市立福岡保育所	54	高松市立西植田保育所	35	坂出市立南部保育所	122
高松市立桜町保育所	166	高松市立東植田保育所	23	坂出市立加茂保育所	63
高松市立田村保育所	48	高松市立大野保育所	180	育愛館	132
高松市立鶴尾保育所	7	高松市立浅野保育所	114	豊城福祉会坂出保育園	89
高松市立太田保育所	130	高松市立川東南保育所	10	林田保育園	101
高松市立木太保育所	144	高松市立国分寺北部保育所	116	みどり保育園	124
高松市立古高松保育所	165	高松市立国分寺南部保育所	103	愛集苑保育所	21
高松市立下笠居西部保育所	15	高松市立牟礼保育所	106	さぬき市立長尾保育所	93
高松市立下笠居東部保育所	34	高松市立田井保育所	59	計 42 所	3,894
高松市立香西保育所	178	松福福祉会城東保育園	118		
高松市立弦打保育所	150	こぶし花園保育園	103		

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎	29	高松市立大町幼稚園	12	青空幼稚園	148
高松市立前田幼稚園	19	高松市立大野幼稚園	39	百華学園太田百華幼稚園	235
高松市立川添幼稚園	30	高松市立浅野幼稚園	22	光華学園光華幼稚園	156
高松市林こども園	227	高松市川東こども園	114	新田学園新田幼稚園	131
高松市立三溪幼稚園	46	高松市香南こども園	204	らく楽寺井幼稚園	212
高松市立香西幼稚園	32	高松市立国分寺北部幼稚園	93	国東学園くにと幼稚園	342
高松市立一宮幼稚園	31	高松市立国分寺南部幼稚園	90	やしま学園やしま幼稚園	248
高松市立多肥幼稚園	46	高松中央高校幼稚園	54	認定こども園つくし幼稚園	78
高松市立川岡幼稚園	21	ときわ幼稚園	95	まゆみ学園まゆみ幼稚園	101
高松市立円座幼稚園	42	高松聖母被昇天学院マリア幼稚園	197	認定こども園サンシャインこどもの森	85
高松市立檀紙幼稚園	43	高松聖ヤコブ幼稚園	104	中野保育所	26
高松市立弦打幼稚園	24	四国高松学園高松東幼稚園	117	花ノ宮こども園	90
高松市立鬼無幼稚園	29	香川県百華学園 勅使百華幼稚園	211	※ 認定こども園すまいる	134
高松市下笠居こども園	64	のぞみ幼稚園	109	丸亀市立西幼稚園	64
高松市立木太幼稚園	73	栗林学園栗林幼稚園	302	丸亀市立城坤幼稚園	83
高松市立山田幼稚園	45	二番丁学園二番丁幼稚園	145	丸亀市立城東幼稚園	74
高松市屋島こども園	130	亀阜学園亀阜幼稚園	133	丸亀市立城辰幼稚園	42
高松市立春日幼稚園	20	高松学園高松幼稚園	176	丸亀市立郡家こども園	177
高松市立木太北部幼稚園	34	屋島教会学園屋島教会幼稚園	92	※ 丸亀市立本島幼稚園	1
高松市庵治こども園	102	聖母学園高松聖母幼稚園	110	丸亀市立あやうたこども園	88
高松市塩江こども園	49	聖母学園桜町聖母幼稚園	165	丸亀市立飯山こども園	148
高松市はらこども園	145	相愛学園相愛幼稚園	201	聖母学園丸亀聖母幼稚園	86
高松市立栗山幼稚園	59	小小学園愛育幼稚園	45	丸亀虎岳学園丸亀城南虎岳幼稚園	222

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属幼稚園	78	さぬき市立長尾幼稚園	32	小豆島町立苗羽幼稚園	14
坂出市立坂出中央幼稚園	60	さぬき市立造田幼稚園	30	小豆島町立旭幼稚園	5
坂出市立林田幼稚園	34	聖母学園長尾聖母幼稚園	25	小豆島町立福田幼稚園	4
坂出市立加茂幼稚園	15	東かがわ市立引田こども園	112	小豆島町立小豆島こどもセンター	108
坂出市立府中こども園	64	東かがわ市立本町幼稚園	19	三木町立しの子幼稚園	121
坂出市立川津幼稚園	19	東かがわ市丹生こども園	59	三木町立田中幼稚園	9
坂出市立松山幼稚園	19	三豊市立二ノ宮幼稚園	19	三木町立氷上幼稚園	66
ルンビニ幼稚園	140	三豊市立比地二幼稚園	42	三木町立白山幼稚園	26
さんかこども園	144	三豊市立上高瀬幼稚園	64	三木学園あおば幼稚園	146
坂出一高幼稚園	127	三豊市立勝間幼稚園	50	直島町立直島幼児学園	84
善通寺市立西部幼稚園	47	三豊市立麻幼稚園	21	宇多津町立宇多津幼稚園	62
善通寺市立南部幼稚園	58	※ 三豊市立山本幼稚園	137	青山幼稚園	100
善通寺市立東部幼稚園	68	三豊市立吉津幼稚園	56	香川短期大学附属幼稚園	179
善通寺市立与北幼稚園	10	三豊市立下高瀬幼稚園	44	まんのう町立高篠こども園	60
善通寺市立竜川幼稚園	175	三豊市立大見幼稚園	45	まんのう町立四条こども園	68
善通寺市立筆岡幼稚園	75	三豊市立豊中幼稚園	249	まんのう町立満濃南こども園	180
善通寺市立吉原幼稚園	64	三豊市立詫間幼稚園	57	まんのう町立長炭こども園	75
聖母学園善通寺聖母幼稚園	54	三豊市立松崎幼稚園	18	まんのう町立仲南こども園	69
観音寺市立観音寺幼稚園	146	三豊市立平石幼稚園	65	まんのう町立琴南こども園	43
観音寺市立観音寺中央幼稚園	142	三豊市立曾保幼稚園	4	琴平町立南幼稚園	24
観音寺市立大野原幼稚園	246	三豊市立財田幼稚園	48	琴平町立北幼稚園	25
観音寺市立豊浜幼稚園	126	土庄町立土庄こども園	189	多度津町立四箇幼稚園	47
聖母学園観音寺聖母幼稚園	110	土庄町立大鐸こども園	41	多度津町立白方幼稚園	4
さぬき市立津田こども園	120	土庄町立大部こども園	14	多度津町立豊原幼稚園	67
さぬき市立さぬき南幼稚園	53	土庄町立北浦こども園	37	多度津町立多度津幼稚園	40
さぬき市立志度幼稚園	52	土庄町立四海こども園	36	計 150 所	12,606
さぬき市立さぬき北幼稚園	9	小豆島町立星城幼稚園	17		
さぬき市立寒川幼稚園	32	小豆島町立安田幼稚園	22		

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属高松小学校	623	高松市立男木小学校	3	丸亀市立城北小学校	8
高松市立新番丁小学校	128	高松市立川島小学校	480	丸亀市立城西小学校	504
高松市立亀阜小学校	12	高松市立十河小学校	99	丸亀市立城南小学校	648
高松市立栗林小学校	24	高松市立東植田小学校	31	丸亀市立城東小学校	627
高松市立花園小学校	252	高松市立植田小学校	91	丸亀市立城辰小学校	356
高松市立高松第一小学校	639	高松市立中央小学校	930	丸亀市立本島小学校	4
高松市立鶴尾小学校	26	高松市立太田南小学校	939	丸亀市立郡家小学校	794
高松市立太田小学校	761	高松市立木太南小学校	256	丸亀市立飯野小学校	318
高松市立木太小学校	461	高松市立古高松南小学校	695	丸亀市立垂水小学校	365
高松市立古高松小学校	518	高松市立屋島東小学校	15	丸亀市立富熊小学校	210
高松市立屋島小学校	350	高松市立屋島西小学校	12	丸亀市立栗熊小学校	129
高松市立前田小学校	204	高松市立木太北部小学校	390	丸亀市立岡田小学校	10
高松市立川添小学校	478	高松市立塩江小学校	66	丸亀市立飯山北小学校	621
高松市立林小学校	164	高松市立庵治小学校	155	丸亀市立飯山南小学校	324
高松市立三溪小学校	498	高松市立牟礼小学校	290	香川大学教育学部附属坂出小学校	414
高松市立仏生山小学校	542	高松市立牟礼北小学校	429	坂出市立坂出小学校	574
高松市立香西小学校	503	高松市立牟礼南小学校	197	坂出市立東部小学校	363
高松市立一宮小学校	675	高松市立大野小学校	15	坂出市立金山小学校	156
高松市立多肥小学校	25	高松市立浅野小学校	14	坂出市立西庄小学校	53
高松市立川岡小学校	291	高松市立川東小学校	14	坂出市立林田小学校	10
高松市立円座小学校	723	高松市立香南小学校	6	坂出市立加茂小学校	206
高松市立檀紙小学校	597	高松市立国分寺北部小学校	16	坂出市立府中小学校	114
高松市立弦打小学校	510	高松市立国分寺南部小学校	231	坂出市立川津小学校	8
高松市立鬼無小学校	8	丸亀市立城乾小学校	214	坂出市立松山小学校	173
高松市立下笠居小学校	233	丸亀市立城坤小学校	665	坂出市立瀬居小学校	9

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
善通寺市立東部小学校	255	三豊市立二ノ宮小学校	64	三木町立田中小学校	101
善通寺市立中央小学校	210	三豊市立比地小学校	162	三木町立氷上小学校	525
善通寺市立西部小学校	151	三豊市立上高瀬小学校	219	三木町立白山小学校	284
善通寺市立南部小学校	171	三豊市立勝間小学校	156	直島町立直島小学校	7
善通寺市立筆岡小学校	199	三豊市立麻小学校	132	宇多津町立宇多津小学校	408
※ 善通寺市立吉原小学校	139	三豊市立山本小学校	326	宇多津町立宇多津北小学校	579
観音寺市立観音寺小学校	564	三豊市立吉津小学校	143	綾川町立綾上小学校	6
観音寺市立伊吹小学校	7	三豊市立下高瀬小学校	193	綾川町立昭和小学校	234
観音寺市立高室小学校	128	三豊市立大見小学校	48	綾川町立陶小学校	101
観音寺市立常磐小学校	365	三豊市立桑山小学校	111	綾川町立滝宮小学校	339
※ 観音寺市立豊田小学校	130	三豊市立笠田小学校	113	綾川町立羽床小学校	4
観音寺市立栗井小学校	74	三豊市立本山小学校	137	まんのう町立琴南小学校	61
観音寺市立柞田小学校	453	三豊市立上高野小学校	85	まんのう町立高篠小学校	171
観音寺市立一ノ谷小学校	266	三豊市立比地大小学校	116	まんのう町立四条小学校	230
観音寺市立大野原小学校	525	三豊市立詫間小学校	492	まんのう町立満濃南小学校	215
観音寺市立豊浜小学校	354	三豊市立松崎小学校	114	まんのう町立長炭小学校	112
さぬき市立津田小学校	184	三豊市立仁尾小学校	236	まんのう町立仲南小学校	192
さぬき市立さぬき南小学校	233	三豊市立曾保小学校	10	琴平町立琴平小学校	128
さぬき市立志度小学校	517	※ 三豊市立財田小学校	170	琴平町立榎井小学校	91
さぬき市立さぬき北小学校	8	土庄町立土庄小学校	490	琴平町立象郷小学校	127
※ さぬき市立寒川小学校	267	土庄町立豊島小学校	22	多度津町立四箇小学校	314
さぬき市立長尾小学校	442	小豆島町立星城小学校	127	多度津町立白方小学校	6
さぬき市立造田小学校	183	小豆島町立安田小学校	134	多度津町立豊原小学校	442
東かがわ市立引田小学校	213	小豆島町立苗羽小学校	7	多度津町立多度津小学校	248
東かがわ市立白鳥小学校	340	小豆島町立池田小学校	34	計 151 所	38,721
東かがわ市立大内小学校	505	三木町立平井小学校	576		

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属高松中学校	314	丸亀市立東中学校	660	三豊市立豊中中学校	275
香川県立高松北中学校	328	丸亀市立西中学校	741	三豊市立詫間中学校	264
高松市立桜町中学校	765	丸亀市立南中学校	665	三豊市立仁尾中学校	140
高松市立紫雲中学校	651	丸亀市立本島中学校	8	三豊市立和光中学校	86
高松市立玉藻中学校	536	丸亀市立綾歌中学校	327	三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校	349
高松市立高松第一中学校	306	丸亀市立飯山中学校	474	土庄町立土庄中学校	269
高松市立鶴尾中学校	3	香川大学教育学部附属坂出中学校	5	土庄町立豊島中学校	11
高松市立屋島中学校	488	坂出市立坂出中学校	10	小豆島町立小豆島中学校	271
高松市立協和中学校	204	坂出市立東部中学校	9	三木町立三木中学校	44
高松市立龍雲中学校	26	坂出市立白峰中学校	457	直島町立直島中学校	48
高松市立勝賀中学校	668	坂出市立瀬居中学校	10	宇多津町立宇多津中学校	495
高松市立一宮中学校	371	坂出市立岩黒中学校	1	綾川町立綾上中学校	94
高松市立香東中学校	779	善通寺市立西中学校	269	綾川町立綾南中学校	463
高松市立下笠居中学校	106	観音寺市立観音寺中学校	282	まんのう町立満濃中学校	456
高松市立男木中学校	1	観音寺市立中部中学校	486	琴平町立琴平中学校	168
高松市立山田中学校	549	観音寺市立伊吹中学校	4	多度津町立多度津中学校	567
高松市立太田中学校	678	観音寺市立大野原中学校	253	大手前高松中学校	127
高松市立古高松中学校	563	観音寺市立豊浜中学校	6	香川誠陵中学校	206
高松市立木太中学校	733	さぬき市立さぬき南中学校	372	大手前丸亀中学校	290
高松市立塩江中学校	53	さぬき市立志度中学校	381	香川県藤井中学校	343
高松市立庵治中学校	82	さぬき市立長尾中学校	295	計 70 所	21,203
高松市立牟礼中学校	422	東かがわ市立引田中学校	118		
高松市立香川第一中学校	195	東かがわ市立白鳥中学校	207		
高松市立香南中学校	177	東かがわ市立大川中学校	274		
高松市立国分寺中学校	669	三豊市立三野津中学校	256		

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川県立小豆島中央高等学校	512	香川県立香川中央高等学校	44	高松市立高松第一高等学校	911
香川県立三本松高等学校	25	香川県立農業経営高等学校	301	藤井学園寒川高等学校	511
香川県立津田高等学校	310	香川県立坂出商業高等学校	510	高松中央高等学校	975
香川県立志度高等学校	360	香川県立坂出高等学校	770	英明高等学校	474
香川県立石田高等学校	349	香川県立坂出工業高等学校	387	大手前高松高等学校	592
香川県立三木高等学校	475	香川県立飯山高等学校	68	香川誠陵高等学校	338
香川県立高松北高等学校	67	香川県立丸亀高等学校	28	坂出第一高等学校	444
香川県立高松高等学校	320	香川県立丸亀城西高等学校	607	大手前丸亀高等学校	314
香川県立高松工芸高等学校	16	香川県立善通寺第一高等学校	645	香川県藤井高等学校	421
香川県立高松商業高等学校	937	香川県立琴平高等学校	570	※ 村上学園高等学校	84
香川県立高松東高等学校	723	香川県立多度津高等学校	584	尽誠学園高等学校	685
香川県立高松南高等学校	70	香川県立笠田高等学校	352	四国学院大学香川西高等学校	20
香川県立高松西高等学校	835	香川県立高瀬高等学校	396	禅林学園高等学校	40
香川県立高松桜井高等学校	833	香川県立観音寺総合高等学校	19	計 41 所	16,922

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川県立盲学校	17	香川県立高松養護学校	106	香川大学教育学部附属特別支援学校	60
香川県立聾学校	31	香川県立香川丸亀養護学校	243	計 9 所	841
香川県立香川東部養護学校	5	香川県立善通寺養護学校	112		
香川県立香川中部養護学校	173	香川県立香川西部養護学校	94		



◎研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月 日	場 所	参加者（対象）	参加人数
本社	全国指導者協議会総会・研修会	9月11日（金）	東京都・日赤本社（WEB会議）	指導者協議会長	1
	全国賛助奉仕団協議会総会	11月	福島県（書面開催）	賛助奉仕団委員長	—
	青少年赤十字国際交流事業（隔年開催）	11月15日（日）	東京都・日赤本社（WEB会議）	高校生メンバー、指導者	1
	指導主事対象研究会	1月8日（金）	東京都・日赤本社（WEB会議）	指導主事	1
ブロック	中国・四国ブロック賛助奉仕団連絡協議会・研修会	10月	岡山県（書面開催）	中・四国賛助奉仕団員	—
	中国・四国ブロック指導者協議会	10月13日（火）	山口県（WEB会議）	指導者協議会役員、支部職員	2
支部協議会・賛助	香川県指導者協議会役員会	4月	日赤香川県支部（書面開催）	指導者協議会役員	—
	香川県賛助奉仕団役員会	4月	香川県社会福祉総合センター（書面開催）	賛助奉仕団役員	—
	赤十字フェスタ（世界赤十字デー周知キャンペーン）	4月29日（水・祝）	高松丸亀町壱番街前ドーム広場	青少年赤十字メンバー	※
	香川県賛助奉仕団総会	5月9日（土）	日赤香川県支部	賛助奉仕団員	※
	リーダーシップ・トレーニング・センター企画運営委員会	6月4日（木）	日赤香川県支部	企画運営委員、支部職員	7
	リーダーシップ・トレーニング・センター事前研修会	7月上旬	日赤香川県支部	指導者	※
	リーダーシップ・トレーニング・センター	8月1日（土）～3日（月）	香川県立五色台少年自然センター	小・中・高メンバー、指導者、支部職員	※
	香川県指導者協議会役員会	10月1日（木）	日赤香川県支部	指導者協議会役員、支部職員	10
	香川県賛助奉仕団役員会	10月1日（木）	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員、支部職員	7
	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者研修会（反省会）	10月上旬	日赤香川県支部	指導者	※
	研究発表会	11月4日（水）	琴平町立榎井小学校	指導者等	63
	香川県指導者研修会	1月19日（火）	香川県社会福祉総合センター	指導者	30
	香川県指導者協議会役員会	3月19日（金）	日赤香川県支部	指導者協議会役員、支部職員	10
	香川県賛助奉仕団役員会	3月19日（金）	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員、支部職員	10

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◎青少年赤十字指導者研修会の開催

青少年赤十字指導者をはじめとする参会者に、学校現場へ青少年赤十字を取り入れ、学校づくりや子どもの育成等に役立てていただくことを目的として開催することとしており、令和2年度においては、次のとおり開催しました。

- 日 時／令和3年1月19日（火）14：00～16：00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階第2中会議室
- 参 加 者／青少年赤十字加盟校指導者等 30人
- 講演内容／講演「withコロナの時代の青少年赤十字活動」

講師：高松赤十字病院 公認心理師／臨床心理士 島津昌代



◎青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

青少年赤十字の組織と活動のリーダーとなる児童・生徒の養成を目的として開催し、知識、技術、態度の面から赤十字と青少年赤十字について学習します。事前に企画運営委員会を実施し、コロナ禍での実施を模索しましたが、子どもたちの安全を考え、中止としました。

- 日 時／令和2年8月1日（土）～3日（月）
- 場 所／香川県立五色台少年自然センター
- 参 加 者／小・中・高校生メンバー、指導者
- 内 容／赤十字の歴史、健康安全プログラム、ボランティアサービス等



▶ 青少年赤十字研究推進校の指定

青少年赤十字活動の充実強化を図るとともに、地域への理解促進を図り、青少年赤十字事業の振興を期するため、青少年赤十字研究推進校を指定し、研究を委嘱しました。

◎指定状況

指定年度	指定期間	研究主題	指定校名
令和元年度	令和元年度～2年度	気づき 考え 実行する 子どもの育成	琴平町立 榎井小学校
令和2年度	令和2年度～3年度	他者とともによりよく生きようとする児童の育成	高松市立 川添小学校

◎研究発表会の開催

- 日 時／令和2年11月4日（水）14：15～16：15
- 開催校／琴平町立榎井小学校
- 参加者／教育関係者、赤十字関係者等 63人



8 医療事業



高松赤十字病院は、明治40年6月1日に日本赤十字社香川支部病院として設立されて以来、医療法における公的医療機関として地域医療の中核を担うとともに、災害時には医療救護活動の重要な拠点として地域医療に貢献してきました。また、急性期・高度急性期型医療施設として、DPC（包括医療支払制度）への対応、地域がん診療連携拠点病院の指定、7対1の看護基準の取得、地域医療支援病院の承認、地域周産期母子医療センターの認定や手術支援ロボット「ダヴィンチ」、MRI 3テスラ、最新鋭320列CTの導入や、電子カルテの更新、造血幹細胞・腎臓の移植医療に関する診療基盤の整備、TAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)の認定等、診療機能の強化を図ってきました。

令和2年4月からは本館北タワーが本格稼働となり、高度医療機器を整備拡充しており、更なる診療機能の強化、業務の効率化を図り、高度専門医療を提供する公的病院として質の高い医療の提供に努めています。

一方で令和2年の初めから世界的に流行している新型コロナウイルスへの対策は重要な課題となっておりますが、院内にコロナ対策特命チームや部会を設置し、マニュアルの作成やシミュレーションを重ねるなど、万全の体制で対応しています。



◎病床数

- 564床（一般病床／562床、結核病床／2床）

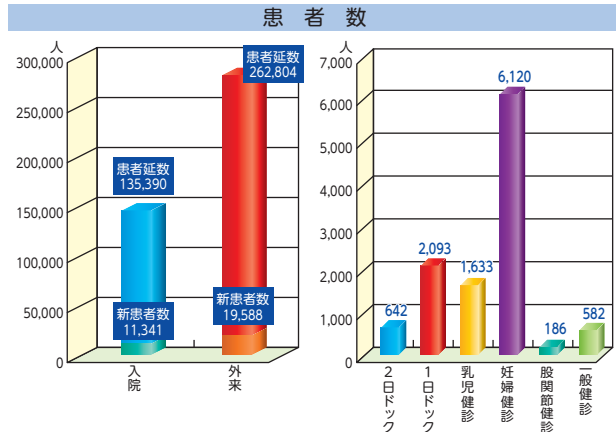
◎診療科目

血液内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、小児科、消化器外科、胸部・乳腺外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、腎臓外科(臓器移植)、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、精神科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、病理診断科

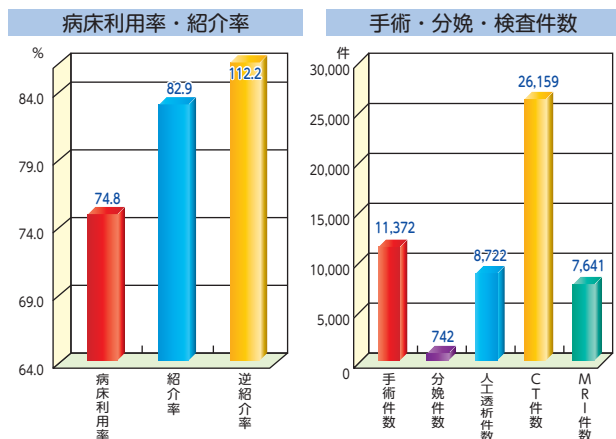
◎職員数（令和3年3月31日現在）

- 医師／199人
- 医療技師／177人
- 看護師・助産師／562人
- 事務職員／188人
- その他職員／64人

◎業務実績（令和2年度）



一日平均入院患者数	370.9人
一日平均外来患者数	1,086.0人
平均在院日数	11.6日



◎主な指定、施設基準

- 災害拠点病院（地域災害医療センター）
- 病院群輪番制第二次救急指定病院
- 臨床研修指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院
- 産科医療補償制度加入機関
- 地域周産期母子医療センター
- 7対1入院基本料
- 総合入院体制加算2
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 特定集中治療室管理料2
- 新生児特定集中治療室管理料2
- 医師事務作業補助体制加算1 15対1
- 急性期看護補助体制加算25対1
- 無菌治療室管理加算1

◎その他認定取得

- (財)日本医療機能評価機構認定施設
- ホスピレート（病院就労環境評価・認証）
- 卒後臨床研修評価機構認定施設
- 看護師の特定行為研修指定研修機関

◎医療の質の向上

- ①医師の育成と確保
 - 初期、後期臨床研修の指導体制の充実
 - 初期、後期研修医の確保
 - 令和2年度 初期15名、後期2名
 - 腫瘍内科外来の開設
 - 医師事務支援体制の充実（医師の外来業務負担軽減）
 - 令和3年3月31日現在 外来クラーク37名
- ②看護師の育成と確保
 - 新人看護師、新人助産師及び看護師の教育体制の充実
 - 令和2年度新人看護師40名（助産師2名を含む）
 - 認定看護師、専門看護師など専門分野における高度な知識、技術を有する看護師の育成
 - 令和3年3月31日現在 認定看護師29名
専門看護師 2名

- 特定行為研修修了看護師の配置
令和3年3月31日現在 13名
- 病棟クラーク（看護業務の事務支援スタッフ）の拡充
令和3年3月31日現在 8名
- 診療報酬担当看護師の育成
令和3年3月31日現在 14名
- ③医療スタッフの育成と確保
 - 薬剤師によるチーム医療、各種指導体制の強化
 - 臨床検査技師による検査部門の充実と患者サービスの向上
 - 放射線科技師による放射線治療及び画像検査体制の充実
 - 超音波診療センターの体制整備、機能の拡充
 - 作業療法士（OT）、理学療法士（PT）、言語療法士（ST）による急性期リハビリ体制の充実、土曜リハビリの完全実施、日、祝日リハビリの拡充
 - 臨床工学技士による手術、透析、心臓カテーテル支援の充実、医療機器の中央管理
 - 管理栄養士による栄養サポート、栄養指導体制の強化
 - 介護福祉士の重点配置
- ④チーム医療の推進
 - 多職種参加研修会、講演会等の開催
 - モーニングセミナー、ランチョンセミナーの継続的開催
 - チーム医療への事務職員の積極的な参画
- ⑤地域医療支援病院としての認定維持と病診・病病連携の強化
 - 医療社会事業部のマンパワーの強化と機能拡充
 - 地域連携の前方・後方・双方向の支援体制強化
 - 逆紹介の推進（令和2年度逆紹介率112.2%）
 - 入退院センターの多職種による機能強化
 - 地域連携機関とのホットラインの運用強化（循環器内科、脳神経外科、泌尿器科等）
 - 患者相談支援センターの拡充
 - 地域連携ニュース（医師向け）及び患者図書室広報誌「こもれび」（患者向け）の継続発行
 - 高松赤十字病院登録医制度の拡充、運用の推進
- ⑥地域がん診療連携拠点病院として地域の医療機関との連携強化
 - 地域連携バスの推進
 - セカンドオピニオン外来の推進 ●緩和医療の推進
- ⑦救急医療の充実
 - 三次救急医療認定取得に向けての施設整備と実績の蓄積
 - 救急医療スタッフの拡充 ●24時間診療体制の維持
 - ドクターカーの有効活用
 - 救急車の受入強化、応需率の向上
 - 救急隊との連携強化（合同勉強会開催）
 - 日直業務体制の強化
- ⑧周産期医療並びに小児医療の強化
 - 地域周産期母子医療センターとしての運営強化
 - 助産師外来の拡充
- ⑨高度医療・先進医療の推進
 - 泌尿器科、消化器外科、胸部・乳腺外科、産婦人科等による手術支援ロボット「ダヴィンチ」の運用強化と拡充
 - 「生殖医療センター」の体制整備、生殖医療の推進
- ⑩診療の質の充実
 - クリニカルインジケーターの活用
 - 診療録管理体制の強化
 - 検査部門における国際規格（ISO15189）の取得（令和2年3月5日）
- ⑪医療安全管理体制の強化
 - 医療事故の防止体制強化
 - 医療事故調査制度に対応した院内事故発生時のマニュアル整備
 - 医療安全の研修会参加
 - 研修、セミナー、ワークショップを活用した医療安全の推進
 - インシデント（事件）、アクシデント（事故）報告の徹底

- ⑫院内感染防止対策の強化
 - コロナ対策特命チーム及び各種部会の設置
 - 新採用職員に対する院内感染対策の基本的知識の啓発継続
 - 講習会、研修会での職員に対する教育の徹底
- ⑬救護救護体制の確保
 - 医療救護活動の体制強化
 - 災害対策マニュアルの再検討
 - 他の医療機関、企業や周辺地域との大規模災害時の応援体制づくり
 - 職員の参加による大規模災害を想定した訓練、関係諸機関と連携した訓練の実施 令和2年11月13日（金）
- ⑭広報の充実
 - 病院情報の各医療機関、地域住民への発信拡充
 - 医師、看護師等の職員確保に向けたリクルート情報の発信、SNSの活用
 - 「診療のご案内」の各医療機関への配布
 - メールマガジン読者拡大と医療関係者へ向けての配信

◎患者サービスの向上

- ①女性外来の推進、拡充
 - 女性医師を中心としたプライバシーに配慮した診療体制（産婦人科（火）、泌尿器科（水）、胸部・乳腺外科（木））
- ②患者への情報提供の推進
 - ホームページ（全面リニューアル）、広報誌「なんがでっきょんな」の充実
 - 患者図書室の有効活用
 - 院内情報配信システムの有効活用
- ③接遇能力の向上
 - 職員の接遇研修の強化
 - 患者満足度の向上 ●ご意見箱の設置
- ④待ち時間の短縮
 - ホスピジョン（患者番号案内表示システム）、「まもなくコール」の活用
 - 予約時間の徹底、新患外来の推進
- ⑤人間ドックの充実
- ⑥病院へのアクセス改善
 - 日赤シャトルバス
- ⑦コンシェルジュの適正配置
- ⑧看護師による退院前後患者訪問の推進

◎診療基盤の整備

- ①本館北タワーの完成に伴う充実運用、本館6、7階を含む改修
- ②高度医療機器の更新並びに必要な医療機器の新規導入による診療機能の向上
- ③夜間、休日を含む緊急手術体制の強化
- ④ハイブリッド手術室の充実した運用
- ⑤本館（本8、9、10病棟）と無菌病室の効果的運用
- ⑥増床後のHCU病室の効果的運用
- ⑦CCU病床の運用開始
- ⑧センター化による効果的・効率的な病床並びに外来運営



ヘリコプターによる患者の搬送訓練



中央診療棟改修



本館改修



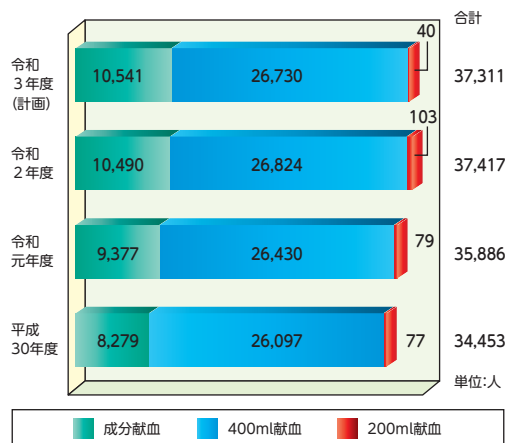
遠心ポンプ装置（ECMO）（新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金）

9 血液事業

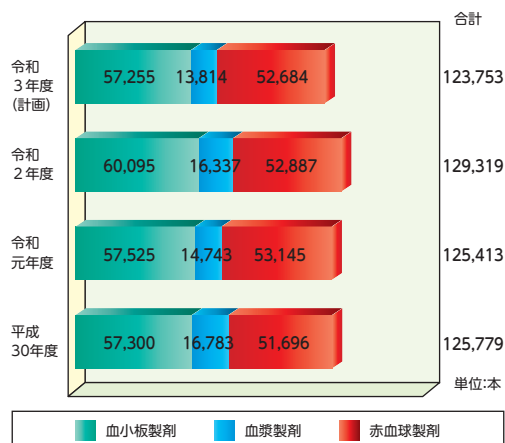


「安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律」により、行政の定める献血推進計画に基づき、献血受入計画を作成し、安全な血液製剤の安定供給に努めています。また、各献血協力団体との連携の強化はもとより、広報活動の充実に努め、さまざまなキャンペーンや広報を通じて県民の皆様に献血思想の普及、啓発を図っています。

◎県内献血者数



◎県内輸血用血液供給数 (200mL換算本数)



◎献血稼働実績

	献血バス	一台平均	献血ルーム	一日平均
令和3年度(計画)	352台	55.0人	363日	50.0人
令和2年度	301台	60.5人	360日	53.3人
令和元年度	312台	57.7人	361日	49.6人
平成30年度	312台	55.5人	354日	48.4人

■香川県赤十字血液センター

- 〒761-8031 高松市郷東町字新開587-1
- TEL 087-881-1500

■献血ルーム“オリーブ”

- 〒760-0029 高松市丸亀町13番地3
高松丸亀町参番街東館3F
- TEL 087-821-2300

◎全国学生クリスマス献血キャンペーン

学生献血ボランティアが主催し、学生を中心に献血の輪を拡大することを目的に昭和63年から実施され、本県においてもアイデアを凝らしたイベントを令和2年12月19日から25日にかけて実施しました。

◎はたちの献血キャンペーン

冬季における輸血用血液の安定確保を図るため、令和3年1月1日から2月28日までの2ヵ月間、成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方を中心にキャンペーンを実施しました。

◎若年層への普及啓発

少子高齢化による献血者減少に対応するため、主に将来の献血を担う10代を中心とした若年層世代を対象に献血について正しい知識の習得や、助け合いの精神を育成すること等を目的とした「献血出前セミナー」や「血液センターでの見学学習」を実施し、若年層への献血に関する知識の普及啓発活動を行いました。

◎複数回献血者の確保

安全性の高い輸血用血液を安定的に確保するため、継続的な献血が期待できる複数回献血クラブ「ラブラッド」の登録者（年間複数回献血者）を募集しました。登録者には血液センターからのイベント情報等のお知らせや輸血用血液が不足しがちな時期に献血の依頼をメールやLINEにて発信しました。

◎低ヘモグロビン血者等に対する健康相談事業

低ヘモグロビン血で献血ができなかった方に栄養士及び医師が食事・生活面等について指導し、再度献血にご協力いただくために栄養相談を実施しました。また、他の理由により献血ができなかった方にも、健康維持・促進を図り献血への協力を得るために健康相談を実施しました。

◎献血協賛企業活動の推進

献血活動への理解と協力並びに社会貢献活動の象徴として作成したロゴマーク「献血サポーター」を、献血協力企業及び団体に活用してもらうことにより、献血活動を広く一般社会に周知するとともに、企業・団体が行なう献血活動の普及・拡大を推進しました。

◎各種媒体による広報

献血へのより一層の推進を図るため、献血ルーム「オリーブ」を中心に、FMラジオ、地元タウン情報誌、ホームページ等の各種情報媒体を活用した広報を実施しました。



10 赤十字思想の普及



社業の進展を図るためには、多くの方々に赤十字の趣旨と活動についての理解と認識を深めていただくことが肝要です。

そのために県内各地で行った救急法等の講習会をはじめ、諸会合等あらゆる機会をとらえて広報活動に努めました。

また、テレビ、ラジオ、新聞などの報道機関や市町広報の協力を得て、赤十字会員増強運動月間、義援金の受付、献血キャンペーン、救急法等講習会のPRを実施しました。

▶ 赤十字思想の普及

◎「赤十字フェスタ2020」の開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

5月8日の世界赤十字デーを中心に、広く県民に赤十字を理解してもらうことを目的に、「赤十字フェスタ」を開催することとしており、令和2年度においては、次のとおり赤十字思想の普及啓発キャンペーンを実施予定としていました。

- 主 催／日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センター
- 日 時／令和2年4月29日（水・祝）11：00～15：00
- 場 所／高松丸亀町壺番街前ドーム広場
- 内 容／
 - ・健康相談体力測定コーナー 握力、血圧、体脂肪測定
 - ・献血コーナー 献血ルーム「オリーブ」にて献血の呼び掛け
 - ・講習体験コーナー 災害時に役立つ救急法、ロープワーク等体験
 - ・リラクゼーションコーナー
 - ・キャンペーンコーナー
 - ・平成30年7月豪雨災害救護活動等の写真展示
 - ・子ども用救護服試着体験、記念撮影
 - ・香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団のバイク展示・活動紹介
- 参加依頼／二番丁幼稚園、高松市立勝賀中学校、香川県立高松南高等学校、尽誠学園高等学校、赤十字ボランティア等

◎「世界救急法の日（World First Aid Day）」記念イベントの開催

9月の第2土曜日は、国際赤十字・赤新月社連盟が世界統一のキャンペーンとして定めた「World First Aid Day」（世界救急法の日）であることから、令和2年度においては、次のとおり記念イベントを実施し、高松赤十字病院「県民公開講座」を開催するとともに、参加者に一次救命処置の重要性について認識を深めていただく機会を提供しました。

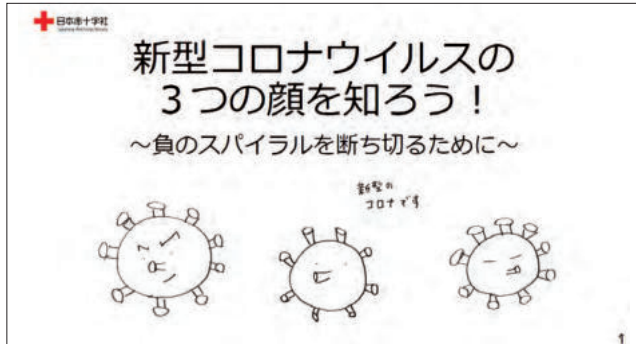
- 主 催／日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院
- 日 時／令和2年9月12日（土）10：00～11：40
- 場 所／香川県社会福祉総合センター コミュニティホール
- 内 容／
 - ・高松赤十字病院「県民公開講座」
 - 演題「危機の時代」を生きる心構えについて
 - ～新型コロナウイルス対策から考える～
 - 講師 高松赤十字病院 公認心理師／臨床心理士 島津昌代
 - ・講演「つなげよう救命の連鎖 広げよう地域の輪」
 - 日本赤十字社香川県支部 事業推進課長 大林武彦
 - ・実演「一次救命処置」 救急法指導員
- 来場者等／122人



◎新型コロナウイルス感染症への対応

日本赤十字社では、「人のいのちと健康を守る」という使命のもと、全国の赤十字施設を挙げて以下の取り組みを行いました。

- 救護班の派遣（クルーズ船、一時滞在施設等）
- 赤十字病院における感染者等の受け入れ
- 深刻な血液不足への対応
- 感染予防啓発活動（動画配信・パンフレット）等



◎香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター

「香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター」に職員を派遣し、県民の皆様からの電話相談にあたりました。このコールセンターは、これまで各保健所に対応していた一般相談に係る負担を軽減し、業務の円滑化を図るとともに、相談窓口の集約化により相談体制の強化を図ることを目的に、香川県が開設したものです。香川県看護協会等が委託を受け、保健師や看護師が24時間体制で電話相談に対応しています。



11 香川県赤十字有功会



◎令和2年度香川県赤十字有功会総会の開催

有功会は、赤十字を理解し、赤十字の活動資金である会費を拠出した日本赤十字社有功章等を受章された方々により赤十字の有力な支援団体として赤十字思想の普及と事業の推進等を図るため結成された組織です。香川県赤十字有功会は平成16年に結成されました。

令和2年度の総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会議の開催を見合わせ文書をもって審議を行い、令和元年度事業報告、令和元年度歳入歳出決算、令和2年度事業計画、令和2年度歳入歳出予算が承認されました。

●会 員 数／個人 48人 法人 95社



◎令和2年度表彰者

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、伝達式は行わず、支部事務局にて対象者の方々へ有功章等をお届けしました。

- 社長感謝状／個人 4人 法人 5社
- 金色有功章／個人 8人 法人 3社
- 銀色有功章／個人 13人 法人 57社



12 評議員会



評議員会は、会員（法人が会員の場合は、その法人を代表する役員）の中から選出された評議員をもって組織されます。

評議員会は、支部の重要な業務について審議するほか、支部長の諮問に答えます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会議の開催を見合わせ文書をもって審議を行い、香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センターの令和元年度事業報告、決算、令和3年度事業計画、予算等が承認されました。

◎日本赤十字社香川県支部役員名簿

※評議員任期 平成31年2月14日～令和4年2月13日

(令和3年3月31日現在)

職 名	氏 名	地区別
支 部 長	浜田 恵造	
副 支 部 長	西原 義一	
監 査 委 員	新佐 耕二	
//	長嶋 正信	
//	角田 富雄	
評 議 員	角田 朝則	高松市地区
//	大野 敏子	//
//	中村 絹代	//
//	稲毛 和子	//
//	藤澤津多子	//
//	林 茂子	//
//	宮本美枝子	//
//	松本 孝子	//
//	多田 廣子	//
//	上枝 直樹	//
//	岩崎 正朔	丸亀市地区

職 名	氏 名	地区別
評 議 員	福岡由紀子	丸亀市地区
//	鈴木 勝榮	//
//	松浦 佳子	坂出市地区
//	高畑 光宏	善通寺市地区
//	挽田 公孝	観音寺市地区
//	藤井 邦子	さぬき市地区
//	六車ひろみ	東かがわ市地区
//	植岡 澤江	三豊市地区
//	三枝 邦彦	小豆地区
//	伊藤 良春	東讃地区
//	谷川 俊博	中讃地区
//	丸尾 幸雄	//
//	香川 亮平	支部長選出
//	藤目 真皓	//
//	岩井 秀樹	//
//	近藤 彰介	//

13 決算概要



◎令和2年度一般会計（香川県支部）歳入・歳出決算概要

科 目	決算額(円)	構成比(%)	科 目	決算額(円)	構成比(%)
社資収入	168,577,030	72.9	災害救護事業費	20,532,144	11.4
一般社資収入	126,646,963		救護看護師養成費	4,320,000	2.4
・会費収入	117,613,188		救急法・健康生活支援講習等講習普及費	25,180,680	14.0
・寄付金等収入	7,033,775		奉仕団活動費	978,489	0.5
・指定事業社資収入	2,000,000		青少年赤十字活動費	1,475,481	0.8
法人社資収入	41,930,067		地域（市町）における赤十字活動費	19,574,000	10.9
・その他社資収入	41,930,067		赤十字運動普及・会員増強費	16,939,215	9.4
委託金等収入	94,653	0.0	医療施設基盤整備交付金	4,029,400	2.2
本社からの事業交付金	3,553,850	1.5	血液事業基盤整備交付金	599,896	0.3
繰入金収入	811,250	0.4	国際救援活動費及び本社事業費	25,657,804	14.2
資産収入（香川県への土地貸付け等）	5,349,389	2.3	資金積立金（災害等・国際救護活動・施設整備準備積立金）	24,370,000	13.5
救急法・健康生活支援講習等講習教本代等収入	3,483,150	1.5	資産管理費	4,310,655	2.4
前年度繰越金（年度当初事業資金）	49,287,034	21.3	事業管理運営費	32,395,805	18.0
歳入合計	231,156,356	100.0	歳出合計	180,363,569	100.0

歳入歳出差引（翌年度当初事業資金） 50,792,787円

Mission statement



日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。



 日本赤十字社 香川県支部
Japanese Red Cross Society

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番35号
TEL 087-861-4618 FAX 087-862-7010
E-mail: nisseki@kagawa.jrc.or.jp
URL: <https://www.jrc.or.jp/chapter/kagawa/>

日本赤十字社香川県支部

検索



ハートちゃん